

令和6年度「医療社会事業従事者研修会」案内

第2回

2025年現在地点
在宅療養するALS等の神経筋疾患患者を
取り巻く様々な課題とその解決に向けて！

研修日程

令和7年2月19日(水曜日)から同月25日(火曜日)まで

開催方法

オンデマンド配信 (講義時間:2時間程度予定)

講師

有限会社ケアサポートモモ 代表取締役
NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会副理事長 **川口 有美子 先生**

講演内容

障害者総合支援法の重度訪問介護は、重度障害者にとって最も利用価値のある介護制度ですが、事業所やヘルパーの不足が深刻化し、利用できないことがあります。気管吸引や経管栄養の注入等の医療行為は、国が定める研修を受講したヘルパーは実施できますが、新たな医療的な介護は続々と出てきています。

制度に積み残された課題はこのように沢山あります。それでも日本の在宅ケアに関わる制度はALSのような重度障害者をもカバーする制度であり、独自の発展を遂げてきました。それは日本国憲法の生存権に則った政策の結果でもありますが、日本人の几帳面な国民性にも根拠を見いだせます。しかし、それでも安楽死尊厳死の合法化を求める声は高鳴りをみせています。このような現在地点から、様々なエピソードを交え、ALS等の神経難病で重度身体障害を合わせ持つような人との共生について、考える糸口を提供できたらと思います。

講師プロフィール

川口有美子 (かわぐち・ゆみこ) 先生

1962年東京生まれ。1995年に母がALSを発症。

95年12月から07年9月に自宅で看取るまで在宅人工呼吸療法を行い、2003年4月有限会社ケアサポートモモ設立、代表取締役就任。

2004年5月NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会設立、理事就任。

2006年5月日本ALS協会理事、2007年ALS/MND国際同盟会議理事に就任。

2010年5月ALSの治療選択を巡る家族の葛藤をつづった『逝かない身体』で第41回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。2013年2月立命館大学大学院先端総合学術研究科博士課程修了。

現在は全国各地で重度訪問介護の利用を促進する活動をしている。猫2匹とPTの息子と中野区在住。

申込方法については、裏面をご覧ください。

申込方法

以下URLまたはQRコードより申込フォームにアクセスの上、お申込みください。

- ・ Logoフォーム（申込フォーム）

<https://logoform.jp/form/tmgform/867885>

※申込完了後、自動応答により申込受付メールが届きます。

メールが届いていない場合、申込が完了しておりませんので、ご注意ください。

※申込フォームのURLは、東京都保健医療局のホームページにも掲載しています。

- ・東京都保健医療局ホームページ

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/koza/kensyuukaiko>

- ・検索ワード「東京都保健医療局 医療社会事業従事者研修会」

第1回
申込期限

令和7年2月12日（水曜日）

※参加費は無料です。



留意事項

オンライン配信での開催です。以下留意事項を御確認いただいたうえで、お申込みください。

- ・ 申込フォームには、**参加者のメールアドレス（配信用メールアドレス）を必ずご記載ください。**ご記載いただいたメールアドレス宛に、配信用URL等をお送りさせていただく予定です。
- ・ 参加者以外への資料の提供・動画（講義）の配信は行いません。
- ・ 研修画面をビデオカメラ等で録画することは、禁止いたします。
- ・ 配信期間後に送付するアンケートの提出をもって、研修に参加したものとみなします。

【お問合せ先】

東京都保健医療局医療政策部医療人材課 後藤

電話：03-5320-4441（直通）

E-mail：S1150404@section.metro.tokyo.jp